

1 1 4 頁説明時に使用

(V 学科等の課程認定取下届)

文書番号

令和〇〇年〇月〇〇日

文部科学大臣 〇〇 〇〇 殿

届出者（設置者）名

届出者（設置者）の長の職名及び氏名

〇〇大学の教員の免許状授与の所要資格を得させるための
課程の認定取り下げについて（報告）

文部科学大臣の認定を受けた教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程について、下記のとおり、認定を取り下げたいので、報告します。

記

1 認定を取り下げる課程の名称及び免許状の種類

学科等の名称	免許状の種類	文書番号	文書日付
〇〇学部〇〇学科	中一種免（国語） 高一種免（国語）	〇〇文科初第〇〇号	〇〇年〇月〇日

2 認定取り下げ時期

令和〇〇年度入学生の課程より取り下げる。なお、これより以前の在学生の課程については、当該課程の学生が卒業するのを待って、教職課程を廃止する。

3 認定取り下げ理由

令和〇〇年度に、〇〇学科及び××学科を廃止し、△△学科へ改組するため。

115 頁説明時に使用

様式第4号（教員個人に関する書類）

○フォントサイズはあらかじめ設定しているフォントから変更しないようお願いします。
○英数字は半角でお願いします。

履歴書

2024（令和6）年3月1日時点の年齢を記載して下さい。

履 歴	
フリガナ	
氏 名	生年月日 (年齢)
現住所	〒0000-0000 ○○県・・・ 昭和○○年○月○○日 (満○○歳)
学 歴	
年 月	事 項
平成○年3月	○○大学○○学部○○学科 卒業 (学士 (教育学))
<p>大学・高等専門学校（又はこれと同等以上の学校）卒業以上の学歴を、学位・称号を含めて記載して下さい（該当するものがない場合は最終学歴を記載して下さい。）。</p> <p>1991（平成3）年3月31日までの卒業は「●●学士」 1991（平成3）年4月以降の卒業は「学士（●●学）」と表記。 短大は2005年度以降卒業生は、「短期大学士」 2004年度以前卒業生は、「準学士」と表記。</p>	
平成○年3月	○○大学大学院○○研究科○○専攻 修了 (博士 (教育学))
職 歴	
年 月	事 項
平成○年4月	○○大学○○学部○○学科 講師 (平成○○年3月まで)
平成○年4月	○○大学○○学部○○学科 准教授 (平成○○年3月まで)
平成○年4月	<u>△△大学□□学部□□学科 教授 (現在に至る)</u>
<p>○全ての職歴（自営業、主婦、無職等含む）を記載いただくとともに、職名、職位等についても明記してください。</p> <p>○各職歴について在職期間を明確に記載いただき、現職については「現在に至る」と記載し、下線を引いて下さい。</p> <p>○申請書記載日以降に所属が変わる予定がある場合は、「就任予定」「昇任予定」等と記載して下さい。</p> <p>○研究者としての外国の大学等への留学歴も記載して下さい。</p>	
<p>【過去の課程認定委員会における教員審査（単独担当「可」）】</p> <p>○○○○（平成○○年度、○○大学 ○○）</p> <p>○○○○（平成30年度、○○大学 ○○）<再課程認定></p>	
<div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 10px; display: inline-block; border-radius: 5px;">事務局にて記入</div>	
学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	日本○○学会、△△学会 申請時における所属学会を記載して下さい。

様式第4号（教員個人に関する書類）

年 月	事 項
平成〇年〇月 平成〇年〇月	日本〇〇学会 会員（現在に至る） 全国〇〇協議会 会員（平成〇〇年〇月まで）
賞 罰	
年 月	事 項
年 月	特記事項なし
令和6年3月1日	上記のとおり相違ありません。 氏名 ○ ○ ○ ○

専攻、研究分野等に関連する事項を記載して下さい。ただし公表を秘匿すべき諸委員については記入しないでください。

公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記載して下さい。記載事項がない場合は、「特記事項なし」と記載して下さい。

記入例

最大6ページまでです。フォントサイズはあらかじめ設定しているフォントから変更しないようお願いします。

様式第4号（教員個人に関する書類）

教育研究業績書

英数字は半角でお願いします。→右の日付のみ大文字

令和6年3月1日

氏名 ○ ○ ○ ○

認定を受けようとする課程における担当授業科目

教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育に関する科目
・ ○○○○○○ ()	○○○○○○○ ()	○○○○○○○ ()	○○○○○○○ ()
・ ○○○	事務局にて記入		

教育上の能力に関する事項

事項	年月	概要
(教育方法の実践例、作成した教科書・教材、教育上の能力に関する大学等の評価、実務の経験を有する者についての特記事項等)		特に記載事項がない場合は「特記事項なし」と記載して下さい。
1. 教育方法の実践例	平成X年X月～	授業において配付する資料を事前にWeb上に掲載し、学生が予習・復習に活用できるようにしている。 また、オフィスアワー及びメールにて、学生からの相談を随時受け付けている。
2. 作成した教科書・教材	平成X年X月	平成XX年度●●県教育委員会「○○研修会」で活用する教材を作成した。
3. 教育上の能力に関する大学等の評価	平成X年X月	XX大学より、平成XX年度優秀教員表彰を受けた。
4. 実務の経験を有する者についての特記事項	令和X年X月	XX高等学校3年生を対象とした大学講義体験授業の講師を務めた。

職務上の実績に関する事項

事項	年月	概要
1 資格, 免許	平成X年X月	小学校教諭専修免許状 (免許状番号: 平○小専第XX号)
2 学校現場等での実務経験	8年	XX小学校 教諭 (昭和XX年X月～平成XX年X月) XX小学校 教諭 (教務主任) (平成XX年X月～平成XX年X月)
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成X年X月	XX大学教員免許状更新講習「○○○○」講師
4 その他		特記事項なし

複数の勤務歴がある場合は合算した年数を記入して下さい。

1 1 6 頁説明時に使用

変更理由書

【教科及び教科の指導法に関する科目】

■担当者の変更等

○教職専任教員の変更、追加、削除、職位の変更を行う。

■科目の新設等

○カリキュラムの見直しに伴う科目の新設、廃止、名称変更、単位数の変更、履修方法の変更を行う。

【教育の基礎的理解に関する科目】

■担当者の変更

○教職専任教員の変更、追加、削除、職位の変更を行う。

以 上

118頁説明時に使用

(I 教育課程の変更届)
(新旧対照表)

教育の基礎的理解に関する科目等の変更届新旧対照表 (小)													
大学名		〇〇大学 (学部学科等の課程)				担当部局				担当者			
設置者名		〇〇〇〇				電話番号							
大学の位置		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇				e-mail							
教育課程を変更する学科等	新旧	学部	学科等	入学定員	直近の認定年度	認定を受けている免許状の種類 (免許教科)		新学則等の適用年度		備考			
	新	〇〇学部	〇〇学科	〇〇	—	—		令和〇〇年度		令和〇〇年度入学生より適用する。			
	旧	〇〇学部	〇〇学科	〇〇	令和〇〇年度	小一種免		—					
免許法施行規則に定める科目区分等		新					旧					変更内容等	
科目区分	各科目に含める必要事項	授業科目	単位数 必 選	共通開設 学校種等	教職専任教員 氏名・職名	履修 方法	授業科目	単位数 必 選	共通開設 学校種等	教職専任教員 氏名・職名	履修 方法		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	幼 中 高	■■■■教授	1科目 選択必修	教育原論	2	幼	■■■■教授	1科目 選択必修	共通開設に関する変更	
		教育本質論	2	幼 中 高	□□□□教授		教育本質論	2	幼	□□□□教授		共通開設に関する変更	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	2	幼 中 高			教職概論	2	幼			共通開設に関する変更	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	2	幼 中 高	〇〇〇〇講師		教育制度論	2	幼	〇〇〇〇助教		職位変更 共通開設に関する変更	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論	2	幼			学習・発達論	2	幼				共通開設に関する変更
		教育心理学	2	幼 中 高			教育心理学	2	幼				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1	幼 中 高			特別支援教育概論	1	幼				共通開設に関する変更
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	幼			カリキュラム論	2	幼				名称変更	

(I 教育課程の変更届)
(新旧対照表)

教育の基礎的理解に関する科目等の変更届新旧対照表 (中高)

大学名		〇〇大学 (学部学科等の課程)				担当部局				担当者				
設置者名		〇〇〇〇				電話番号								
大学の位置		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇				e-mail								
教育課程 を変更する 学科等	新旧	学部	学科等	入学 定員 合計	直近の認定年度	認定を受けている免許状の種類 (免許教科)		新学則等の適用年度		備考				
	新	〇〇学部 ●●学部	〇〇学科 ●●学科	〇〇	—	—		令和〇〇年度						
	旧	〇〇学部 ●●学部	〇〇学科 ●●学科	〇〇	令和〇〇年度	中高一種免 (国語) 中高一種免 (理科)		—						
免許法施行規則に定める 科目区分等		新					旧					変更内容等		
科目 区分	授業科目		単位数 必	共通 開設 学校 種等 選	教職専任教員 氏名・職名	履修 方法	授業科目		単位数 必	共通 開設 学校 種等 選	教職専任教員 氏名・職名		履修 方法	
教育の基礎的 理解に 関する 科目	各科目に含める必要事項													
	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想		教育原論	2	幼小	■■■■教授	1科目 選択必修	教育原論	2					履修方法変更 共通開設に関する 変更 教職専任教員追加 新設 教職専任教員追加
			教育本質論	2	幼小	□□□□教授								
	教職の意義及び教員の役 割・職務内容(チーム学校 運営への対応を含む。)		教職概論	2	幼小			教職概論	2					共通開設に関する 変更
			教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項(学 校と地域との連携及び学 校安全への対応を含む。)	教育制度論	2	幼小	〇〇〇〇講師		教育制度論	2		〇〇〇〇助教		
	幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程		学習・発達論	2				学習・発達論	2					共通開設に関する 変更
			教育心理学	2	幼小			教育心理学	2					
特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒に対 する理解		特別支援教育概論	1	幼小			特別支援教育概論	1					共通開設に関する 変更	
		教育課程の意義及び編成 の方法(カリキュラム・マネ ジメントを含む。)	教育課程論	2				カリキュラム論	2					名称変更

119 頁説明時に使用

②教職課程コアカリキュラム対応表

各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)

全体目標: 当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

(1) 当該教科の目標及び内容

一般目標: 学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。

- 到達目標: 1) 学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。
 2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。
 3) 当該教科の学習評価の考え方を理解している。
 4) 当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。
 5) 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。
 ※中学校教諭及び高等学校教諭

(2) 当該教科の指導方法と授業設計

一般目標: 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

- 到達目標: 1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。
 2) 当該教科の特性に応じた情報通信技術の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。
 3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。
 4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。
 5) 当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。
 ※中学校教諭及び高等学校教諭

各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	項目 到達目標 / 授業回	(1)					(2)				
		1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)
授業科目名及び授業回(シラバスのページ番号)											

各到達目標を扱う授業回に○を付すこと。